

カネパッケージ株式会社

埼玉県入間市

生産性向上

需要獲得

担い手確保

ものづくり

サービス

ポイント

コストを削減してさらにカーボンオフセットで社会貢献。「空気をきれいにする夢のパッケージ」を提案する企業

- 環境負荷低減を進めるため、CO2の削減を積極的に行っている
- 梱包材は、RoHS指令並びにリーチ規制に対応すべくX線分析器を装備し、グリーン調達を行っている
- 海外拠点における雇用創出に貢献すると共に、植林活動等の地域貢献活動に積極的に取り組んでいる

企業基本情報

所在地	埼玉県入間市南峯 1095-15
電話/FAX	04-2936-3031/04-2936-3036
URL	https://www.kanepa.co.jp/
代表者	代表取締役社長 金坂 良一
設立	1976年
資本金	5,000万円
従業員数	700人



会社概要

製品の流通環境における衝撃や震動を緩和し、製品を保持する「緩衝材」の開発を業務としている。

産業イノベーションの発達に伴い、包装材の要である緩衝設計の重要性は高まり、設計仕様も一段と厳しさを増している中、同社は、日々加速する進歩に迅速に対応するために、関連会社との提携により、独自のネットワークを展開。緩衝材開発分野に加えて、梱包から配送までをフォローするトータル物流体制で対応している。



会社外観

革新的な製品開発や創造的なサービスの提供に関する取組の内容

環境負荷低減を進める商品設計開発への取組

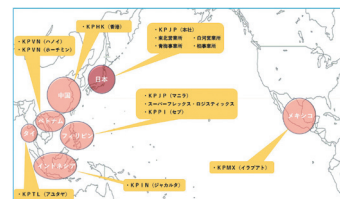
梱包事業材では、1) 環境設計提案、2) 物流設計提案、3) コスト設計提案を同社のコア技術である「緩衝設計」を駆使し、安全に運び運ぶとともに、梱包材のダウンサイジング化、省資源化、積載効率のアップ、トータル梱包材物流コストの効率化を提案をしている。特に、環境負荷低減を進めるため、グリーン調達の推進、事業活動における天然資源やエネルギーの有効活用を図り、CO2の削減を事業のオペレーションと商品設計開発において積極的に行っている。



3D スキャナー

どの海外拠点でも可能な設計開発、評価試験体制の完備

日本を始め、フィリピン、ベトナム、タイ、インドネシア、メキシコ、香港で事業展開しており、どの拠点でも、緩衝技術に精通したエンジニアによる設計開発、豊富な試験設備であらゆる条件を再現し評価試験ができる体制を完備している。特に、梱包材は、現地材を使用した設計評価が必須不可欠な条件となるため、全ての拠点で、RoHS指令並びにリーチ規制にも対応できるようX線分析器を装備し、管理を徹底的に行い、グリーン調達を行っている。



海外拠点

地元の雇用創出への貢献及び地域貢献活動への取組

フィリピンに1996年、カネパッケージ・フィリピン社を設立し工場を稼働させ、その後、中国、ベトナム、タイ、インドネシア、メキシコに14の海外拠点を運営している。同社は、地元の雇用創出に貢献するとともに、現地への寄付等の地域貢献活動にも積極的に取り組んでいる。直近では2017年7月、フィリピンオラゴン島の保育園に教科書、文房具等の寄付を行った。また、同年9月のメキシコ地震では、モラロス州フォトラ市にて毛布、マットレス、文房具、玩具を配布している。



マングローブ植林